

## MDC3 中小建設業の資金繰り支援



佐藤悠本部長

「建設サイト・シリーズ」を展開し、グリーンサイトなどのサービスを提供するエムシーディースリー（東京都渋谷区、以下、MCD3）は、中小建設業向けの資金繰り支援も行っている。建設サイト・シリーズの契約企業数約12万3000社と日本最大規模の産業向けプラットフォームを持つ同社が、なぜこのようなサービスを行っているのか。また、その内容とは。資金繰り支援事業に立ち上げから参画する事業開発本部の佐藤悠本部長に話を聞いた。

—資金繰り支援を始めたきっかけとは。

「建設業の商慣習、金融機関の傾向、昨今の経済状況を踏まえると、中小建設業の資金繰りの難易度は以前より格段に上がっている。この課題に対して、『日本最大規模の産業向けプラットフォームを所持するMCD3だからこそできる取り組みはないか』という考えからスタートした。そもそも中小建設業は、労務費や建材費を先に払わなくてはならない上、上位会社によって支払期日がばらつくことも多く、資金管理が難しい。さらに、建設業のつなぎ融資に消極的な金融機関も多く建設業は黒字倒産が多いのが実態だ」

「MCD3はグリーンサイトの運営によって、12万社を超える協力会社と契約関係にあり、企業の実在性を既に確認できている他、協力会社の活動状況を確認することができるので、企業の正しい信用力を測ることができる。それを『資金繰り面でのサポートに活用できる』と考えたのが事業発足のきっかけとなる」

—資金繰り支援の内容は。

「2023年に工事代金のファクタリングサービス『建設サイト早払い』を開始した。例えば、協力企業から100万円分の請求書を当社が買い取り、支払期日が30日以内の請求書であれば1%差し引いた99万円を協力企業に支払う。発注元からは期日通りに100万円を支払ってもらうサービスとなる」

「低い手数料と申込時の手続きが簡素という2点が大きな特長だが、グリーンサイトで蓄積した膨大なデータを持つMCD3だからこそ実現できた。昨年からの請求書の買い取り金額の総額が大きく伸びており（前年同月比237%増）、利用者からは『早ければ翌日にも審査結果が出るので計画が立てやすい』など好評を博している」

「グリーンサイトに登録されている工事を対象にだが、新たな資金繰り策もスタートした。きらぼし銀行が融資を行いMCD3が銀行融資の一部を保証するサービス『建設工事サポートローン・プラス』だ。協力会社目線では融資という形式で資金調達できるサービスとなり、早払いサービスよりも規模の大きな工事における資金繰りに適している」

—今後の展望について。

「MCD3の立ち位置を生かし、お客さまの声を伺いながら、建設業の担い手の中核である中小建設業の資金繰り支援を強化、さらなる業界貢献を目指していく」